

[国際戦略総合特区分野]
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和6年度

つくば国際戦略総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i)、ii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

4.0

i)取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	連携企業数	98%	4
2	事業・産業創出(起業、ライセンスアウト、製品化等)	62%	3
3	事業化に伴う株式公開(IPO)件数	100%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値

$(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。

(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii)取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

2.8

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

-

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.5

III 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.7

- ・昨年度からTGI(一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構)がTIA(産業技術総合研究所等が協力して運営するオープンイノベーション拠点)の事務局を担うなど体制の効率化が進められ、今後の新たな事業・産業創出が期待できる点を評価した。

・財政・税制・金融支援については今年度は活用実績がなく、また期間全体としての目標等がないことから、評価が難しい。活用実績がないことの理由や原因分析、具体的な取組などに関する記述が欲しいところであり、それがあれば、少なくとも実態を一定程度把握したうえ、努力を評価することも可能になる。また、数値目標のある項目についても、そもそも指標の設定に若干問題があるようで、その結果、毎年度の評価が単なる達成率となっており、その指標が事業全体に対してどのような意味を持っているのかを評価することが出来ない。特に、達成していない場合は、なぜ達成できなかったのかについての原因分析、そしてそれに基づいて、必要な場合は取組の変更や強化などが必要になるため、それらに関する記述がないと、期間全体における進捗度や事業全体に対する貢献の度合いを評価することが難しい。

・BNCTの治験進展と国際連携、藻類エネルギー実証、ロボット・機能性食品事業の実用化は高い評価に値する。一方、最終目標達成には事業化スピードと制度活用の強化が必要と思われる側面も見受けられた。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.7

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4+2.8+3.7 \times 2)/4=3.6$

3.6

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。